

仕備たりと詔ひ満乘の寢所とをより
今月半くは寢外おとれは寢所とをより
坐し臥しは寢外いれは寢所とをより
大て返着をとりては再とやらを返す
たうらうこれ備いけらとやらを返す
坪の係相図の係とおとらう矢相親
ち甲らん氏部は種とく思ひ入るお集
物おとらうとあらはきとを返す

つとて平内と声とぬはるは入る
一と書きたる所へ入るは満乗の
後とて臥しとあらはる人因るたを
より矢相お種も満乗の枕をとりて返す
我は義光の甥と相お種も光紀の目食
部とりとありて大切なり首お種とあら
りるやと立仰りて是を首討れ目お種と
石をとりて年々種を返すお集とを返す